

# 第1章 基本構想策定の趣旨

## 1.1 策定の背景

我が国では、本格的な超高齢社会を迎える中、ノーマライゼーションの理念に基づくまちづくりの一環として、特定建築物について「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築に関する法律」(平成6年度施行、以下「ハートビル法」という)を施行し、建物や施設等のバリアフリー化を推進してきました。さらに、旅客施設を中心とした移動空間のバリアフリー化を推進するため「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」(平成12年度施行、以下「交通バリアフリー法」という)の施行により、公共交通事業者や道路管理者が連携してバリアフリー化を推進するための基本構想を策定できることとなりました。

平成18年12月に、ハートビル法と交通バリアフリー法を統合・拡充した「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(以下「バリアフリー新法」という)が施行され、バリアフリー施策のより一体的・総合的な推進を図ることができるようになりました。

平塚市では、交通バリアフリー法の基本方針に基づき、平塚駅、周辺道路、駅前広場、信号機等のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するため、平成17年に「平塚市交通バリアフリー基本構想」(整備目標年次平成22年)を策定し、駅周辺を重点整備地区に位置付け、整備の推進に努めてまいりました。

## 1.2 策定の目的

バリアフリー新法が施行されたこと、また、平成23年3月に国の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」が改正され、平成32年度末までの整備目標も示されたため、バリアフリー新法の基本方針に基づいた基本構想を策定し、一体的・総合的なバリアフリー化を図り、ユニバーサルデザインを取り入れた、社会的・経済的に活力ある持続可能な社会の形成を目指すため「平塚市バリアフリー基本構想」を策定します。

また、この構想では、平塚駅を中心とした約1kmの範囲において、高齢者や障がい者等の方々が通常利用する生活関連施設(官公庁や福祉施設等)を含む地区を「重点整備地区」として設定し、この地区内におけるバリアフリー化のための方針や実施する事業等を定めます。

ユニバーサルデザインとは、あらかじめ、障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。

出典：障害者基本計画(平成14年12月24日閣議決定)

「高齢者や障がい者等」の対象者として、怪我等による一時的な車いす・松葉杖使用者、妊婦、ベビーカー使用者等も含めています。

### 1.3 バリアフリー新法の仕組み

#### (1) バリアフリー新法の趣旨

この法律は、高齢者、障がい者等の自立した日常生活及び社会生活を確保することの重要性にかんがみ、高齢者、障がい者等の移動上及び施設の利用上の利便性及び安全性の向上の促進を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とします。


ア 公共交通機関の旅客施設及び車両等、道路、路外駐車場、公園施設並びに建築物の構造及び設備を改善するための措置



イ 一定の地区における旅客施設、建築物等及びこれらの間の経路を構成する道路、駅前広場、通路その他の施設の一体的な整備を推進するための措置



図 1-1 ユニバーサル歩行空間ネットワークのイメージ（出典：国土交通省ホームページ）



## ( 2 ) バリアフリー新法の基本的な仕組み

### ア 基本方針の作成

主務大臣は、移動等円滑化を総合的かつ計画的に推進するため、移動等円滑化の促進に関する基本方針（以下「基本方針」という。）を定めます。

- ・ 移動等円滑化の意義及び目標
- ・ 移動等円滑化のために施設設置管理者が講ずべき措置
- ・ 市町村が作成する基本構想の指針
- ・ 移動等円滑化施策に関する基本的事項その他

### イ 移動等円滑化のために施設設置管理者が講ずべき措置

公共交通事業者、道路管理者、路外駐車場管理者、公園管理者、特別特定建築物の建築主等は、新設等を行う一定の施設等には移動等円滑化のために必要な構造等の基準に適合させなければなりません。

### ウ 重点整備地区における移動等円滑化に係る事業の重点的かつ一体的な実施

- ・ 市町村による基本構想の作成

市町村は、基本方針に基づき「重点整備地区」について、駅などの旅客施設、周辺の道路、駅前広場、信号機、路外駐車場、都市公園、建築物等のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するため、当該重点整備地区におけるバリアフリー化のための方針、実施する事業等を内容とする「基本構想」を作成することができます。

- ・ 基本構想に基づく事業の実施

公共交通事業者、道路管理者、路外駐車場管理者、公園管理者、特別特定建築物の建築主等及び都道府県公安委員会は、それぞれ具体的な事業計画を作成し、バリアフリー化のための事業を実施します。

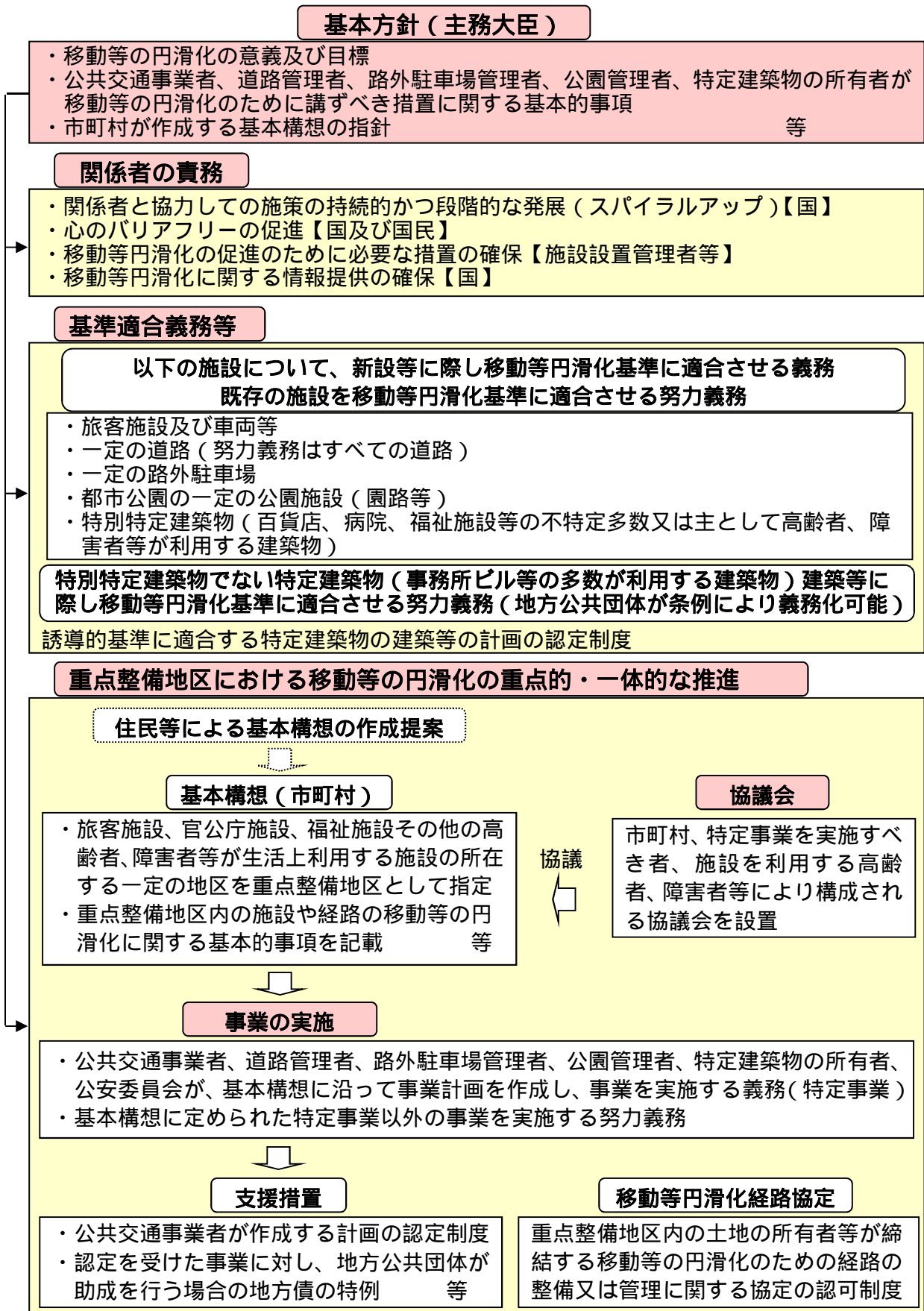


図 1-2 バリアフリー新法の仕組み

## 1.4 策定の意義

我が国では他に類を見ない少子高齢化がこれまで以上に急速に進むと予測されるとともに、地域経済の主な担い手である生産年齢人口が急速に減少すると予測されています。本市においても、老年人口の割合は平成 17 年(2005 年)の 17.6%から 5 年後の平成 22 年(2010 年)には 21.2%に増加しており、その後、平成 27 年(2015 年)には、23.2%になると予測されています。

また、老年人口の増加とともに障がい者人口も増加の傾向にあります。

高齢者や障がい者人口が増加することは、自ら自家用車などを運転し外出する人が減少するかわりにバスやシニアカー等での移動をする方が増えることが考えられます。

こうした社会的な背景の中で、基本構想に基づき施設が集積する地区において、面的・一体的なバリアフリー化を図ることによって、高齢者、障がい者等の移動等の円滑化を通じて、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めることにつながります。

### (1) 老年人口の推移

本市の人口は、これまで増加してきましたが、ここ数年では増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移しています。

年齢別では、15 歳未満の年少人口は近年、微減傾向にあります。15 歳から 64 歳までの生産年齢人口は減少傾向である一方、65 歳以上の老年人口は増加傾向で、平成 30 年には総人口の 25%以上となると予測されており、今後も少子高齢化が進展するものと考えられます。

表 1-1 平塚市の年齢別人口の推移(単位:人)

	年少人口		生産年齢人口		老年人口		不詳	計
平成 12 年	36,771	14.4%	182,194	71.6%	35,662	14.0%	6	254,633
平成 17 年	35,234	13.6%	178,112	68.8%	45,563	17.6%	49	258,958
平成 22 年	34,513	13.2%	171,018	65.6%	55,159	21.2%	90	260,780

(出典:国勢調査)

## (2) 身体障がい者人口の推移

本市の身体障がい者人口は、増加の傾向を示しており、平成 23 年度末で 8,079 人となっています。

障がいの種類別では、肢体不自由が最も多く、次いで内部機能障がいとなっています。障がいの種類すべてで増加傾向にありますが、特に内部機能障がいの増加が顕著となっています。

表 1-2 平塚市の身体障がい者人口の推移（単位：人）

	肢体不自由		聴覚障がい		視覚障がい		言語障がい		内部機能障がい		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
平成 12 年度	3,328	57.4%	646	11.1%	522	9.0%	70	1.2%	1,232	21.3%	5,798
平成 17 年度	3,902	55.5%	721	10.3%	576	8.2%	91	1.3%	1,741	24.8%	7,031
平成 22 年度	4,304	53.9%	821	10.3%	604	7.6%	99	1.2%	2,160	27.0%	7,925
平成 26 年度 推計	4,910	54.3%	648	7.2%	852	9.4%	130	1.4%	2,509	27.7%	9,049

（出典：改定・平塚市障がい者福祉計画（第 2 期）、平塚市行政概要）

## 1.5 基本構想の位置付け

本構想は、バリアフリー新法の基本方針に基づき、平塚市の既往の上位計画や関連する計画等と整合を図り策定します。本構想の位置付けは、以下のとおりです。

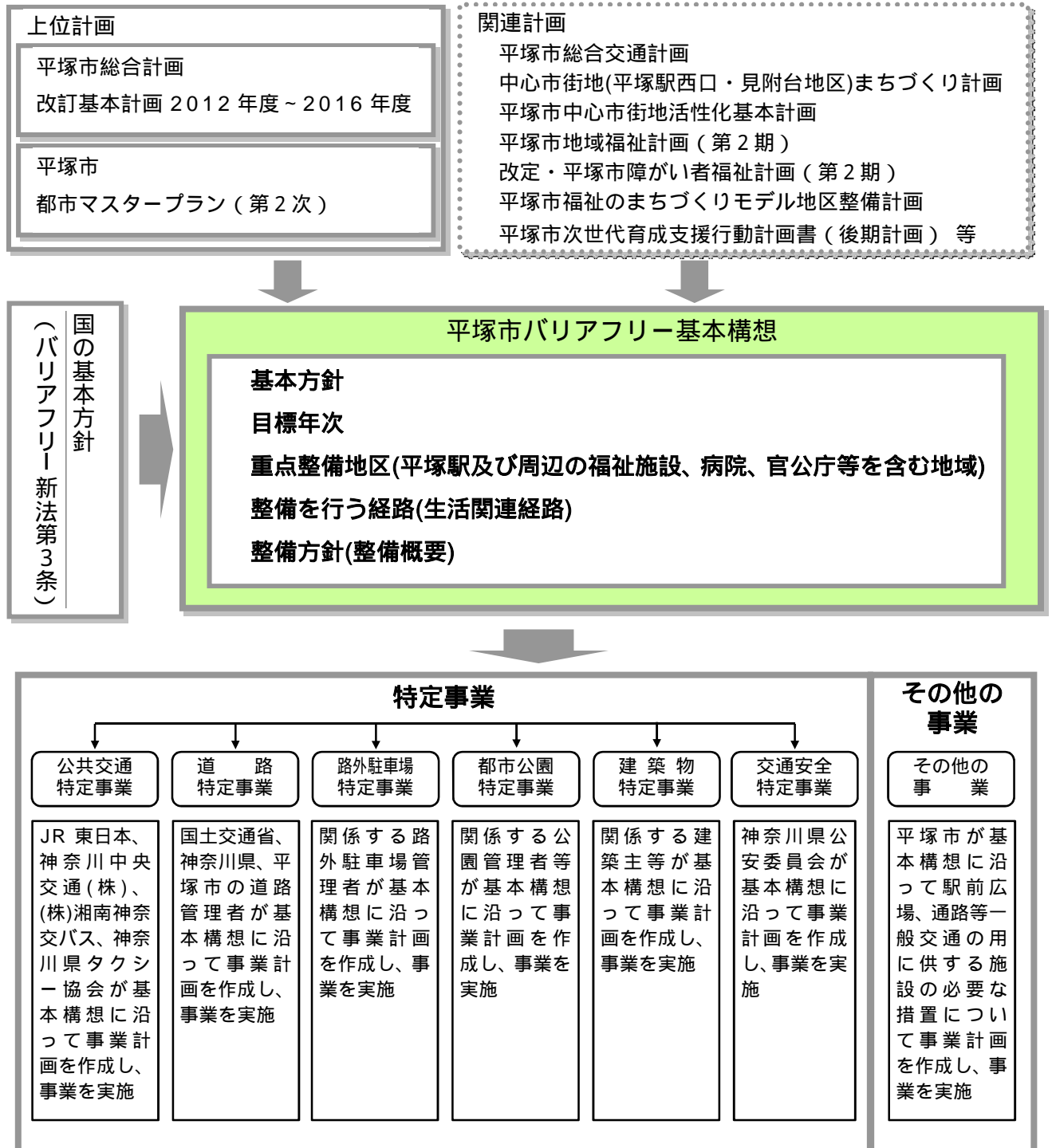
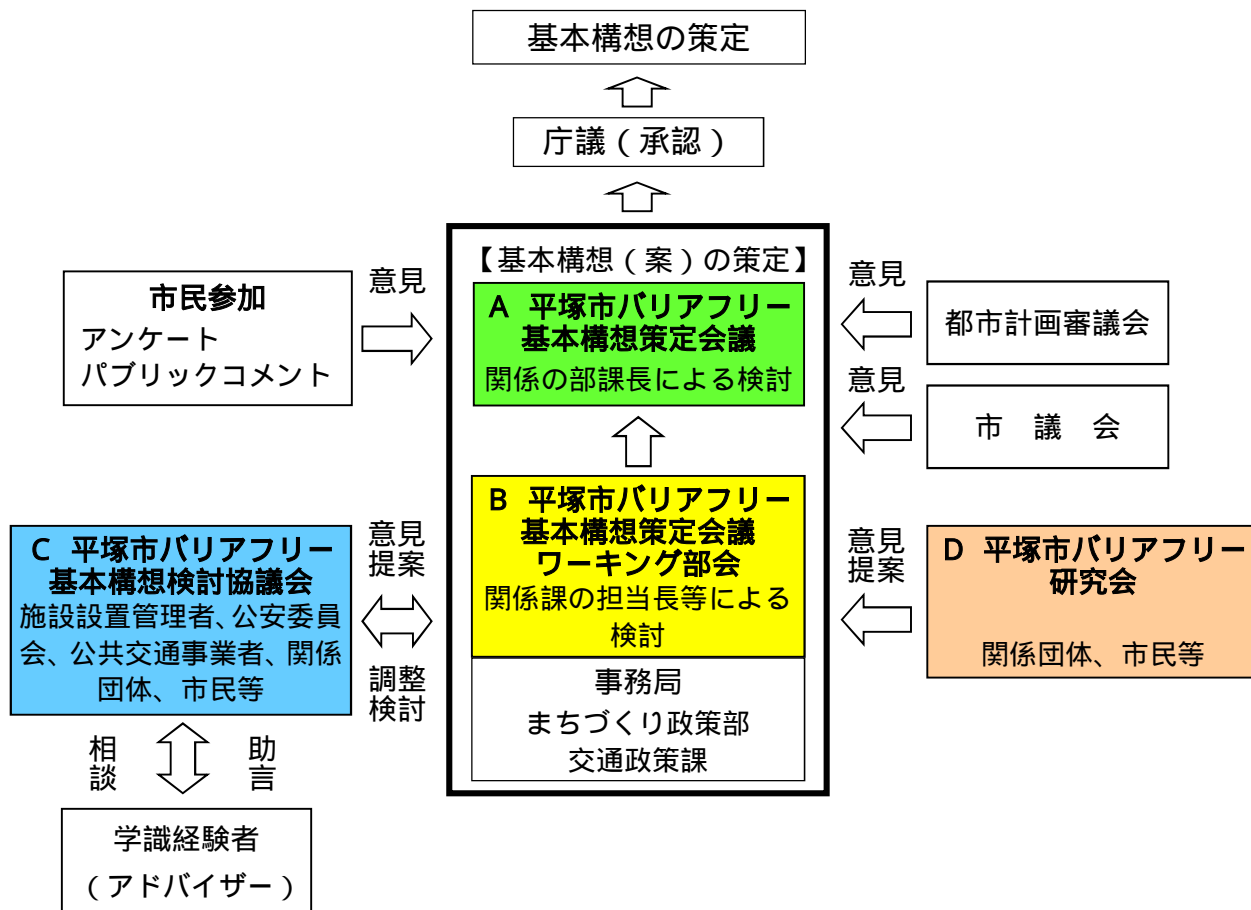


図 1-3 バリアフリー基本構想の位置付け

## 1.6 策定体制

本構想は、次の4つの機関を設置し、市民、関係事業者、行政が連携して策定します。



### A 平塚市バリアフリー基本構想策定会議

庁内関係課が連携し、検討協議会・研究会の提案を反映した基本構想案を策定する。

### B 平塚市バリアフリー基本構想策定会議ワーキング部会

庁内関係課が連携し、検討協議会・研究会の提案を反映し、策定会議に諮る資料を作成する。

### C 平塚市バリアフリー基本構想検討協議会

ワーキング部会で作成した資料について、調整・検討を行い、市へ意見・提案する。

### D 平塚市バリアフリー研究会

高齢者や障がい者等の方とともに、市民の立場からバリアフリーを考え、市へ意見・提案する。

図 1-4 平塚市バリアフリー基本構想の策定体制